

令和3年度 学生による地域フィールドワーク研究助成 中間報告書

大学等名：富山大学

代表学生：中島 叶夢

指導教員：安江 健一

<p>研究題目 (応募部門)</p>	<p>魚津市と富山市の活断層調査と活断層見学ツアーによる 防災意識向上への取り組み (F まちづくり)</p>
<p>研究概要</p>	<p>富山県には、直下型地震を引き起こす活断層が分布するが、地域住民の多くはそれらの断層の詳しい位置や特徴について理解しているとは言えない。本研究では、県内に分布する魚津断層と呉羽山断層の詳細な状態を把握する地形測量と地質調査、断層見学ツアーとワークショップの企画・運営を行う。これらの取り組みにより、参加者が身近に存在する活断層を知って防災意識を高めるとともに、より多くの地域住民の防災意識向上につながる方法を検討して提案する。</p>
<p>これまでの活動状況と 今後の活動予定 (300字程度)</p>	<p>早月川右岸の段丘に分布する魚津断層と、呉羽山丘陵に分布する呉羽山断層の副断層について、地形・地質調査を行っている。両断層において、断層の変位量を明らかにする地形測量、変位した地形の形成年代を明らかにする露頭観察を実施している。その結果、詳しい断層の位置や変位量を明らかにした。今後は、より多くの地点で断層の位置を明らかにするとともに、火山灰などの分析から段丘の形成年代の推定を行っていく予定である。また、これらの活断層調査によって得られた結果をもとに、地域住民に参加いただく活断層見学ツアーとワークショップの企画・運営に取り組む予定である。最終的には、地域住民の防災意識向上につながる方法を検討して提案する予定である。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響で、当初予定と変更がある場合は変更点を記述ください。</p>	



魚津断層によって隆起した
段丘面上のローム層



呉羽山断層によって隆起した礫層



呉羽山断層の上下変位量の測量